



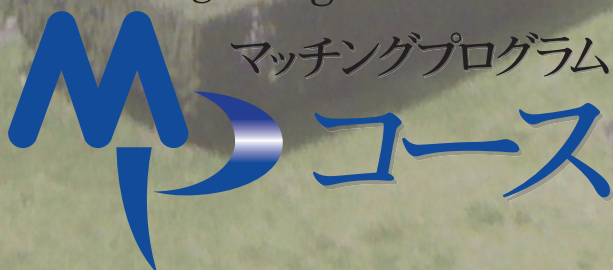
岡山大学
Okayama University

MP Matching Course Program

2011

Matching Program Course

マッチングプログラム



This course is designed to help students create their own integrated program matching individual career interests and goals with what they study. Each student will decide an area of interest and investigate it. Choices will not be limited to the existing curriculums offered by faculties and departments. The goal is to develop students' character as well as ability. We will award a bachelor's degree in philosophy to those students who complete the matching program course.

MP コースって？

マッチングプログラムコース(MPコース)は、幅広い分野に興味を持ち、自分で考える力を育ててきた生徒を受け入れ、先進科学分野・国際連携分野などで活躍する人材を育成するため、岡山大学における戦略的構想の下に生まれた新しい教育コースです。様々な分野に興味を持ち、意欲のある生徒を育てるためには、入学時や修学時に起こるミスマッチを解消し、目的指向力を高めることが何よりも重要です。学生が担任やアカデミック・アドバイザーの指導の下で、将来の目標に対するマッチングを図ることにより、学生の目的指向力を高め、国際社会で役立つ英語や課題探求型授業などの、先進的教育プログラムを実践しています。卒業研究も、学生各自の目標・目的に合った学部・学科(理学部、農学部、教育学部など)を選び、これらの学部教員の指導のもとで行うことができます。

MPコースで学ぶことにより、現代社会で求められている応用力や積極性を鍛え、課題解決能力を培うことができます。特色ある授業内容と整った学習環境の中で、物事を一方向からだけ見るのではなく、多方面から考え、新たな発見をする感性を養うことができます。

進路としては、それぞれの専門領域に関連した分野、すなわち研究、教育、スポーツ関連、生涯教育、福祉、介護、国際関係、情報関連などが考えられます。また、卒業研究に関連した岡山大学の大学院はもちろん、外国を含めた大学の大学院への進学の道も大きく開かれています。

MPコースでは一人ひとりの興味関心に応じた将来設計を行う教育プログラムを自ら組み立てられることが大きな特徴です。

皆さんは、どんな目的で大学に入学するのでしょうか。皆さんの多くは、それぞれの学部等で、自分の将来の職業のため、知識や考え方を学ぶことを目的としていると思います。しかし、既存の学部・学科・コースなどでは、自分の学びたいことを十分学べないと考えている人もいます。岡山大学マッチングプログラムコース(MPコース)は、自分の現在の興味や将来の目的のため、教員の助言を受けながら学部や学科の枠にとらわれずに自分自身にあった履修プログラムを作成して学ぶことができるユニークなコースです。また、MPコースでは現代社会で重要視されている英語力も含めたコミュニケーション能力、さらに自ら考えだす能力を養うことにも重点を置かれており、その中で1人ひとりの個性や能力を一層伸ばすことを目指しています。そして、これらの教育過程により、現代ますます多様で複雑になりつつある社会の要請に応えられるような人材を育成しています。

このMPコースは2006年度にスタートし、昨年度1期生が卒業したばかりの新しいコースですが、1期生の就職希望者は、この不況下でありながら就職活動を有利に進め、早い段階で希望の企業への内定を得て就職することができています。これはMPコースで学ぶことができる広い視野にたった専門性とともに、コース独自の教育の中で培われるコミュニケーション能力、チャレンジ精神、独立心、さらには創造性などが高く評価されたためと思われます。一方卒業後は大学院へ進学し、さらに専門性の高い教育を受けている学生も多数います。

好奇心にあふれた人、考えることが好きな人、他人と少し違うことがしてみたい人、学部の枠を越えてさまざまな分野のことを学びたい人、色々な分野に興味があり志望分野を決めかねている人は、ぜひMPコースの入学試験に挑戦してください。MPコースの入試は、単に知識を持っているかだけではなく、知識を生かすことができる能力を持っているか、MPコースの目指す教育を受ける能力・資質を持っているかをみます。2日間ある入試は少しハードかもしれませんが、多くの受験生が楽しかったという感想を寄せてくれており、いい経験にもなると思います。

マッチングプログラムコース
教育部長

上田 均



マッチングプログラム
MPコース



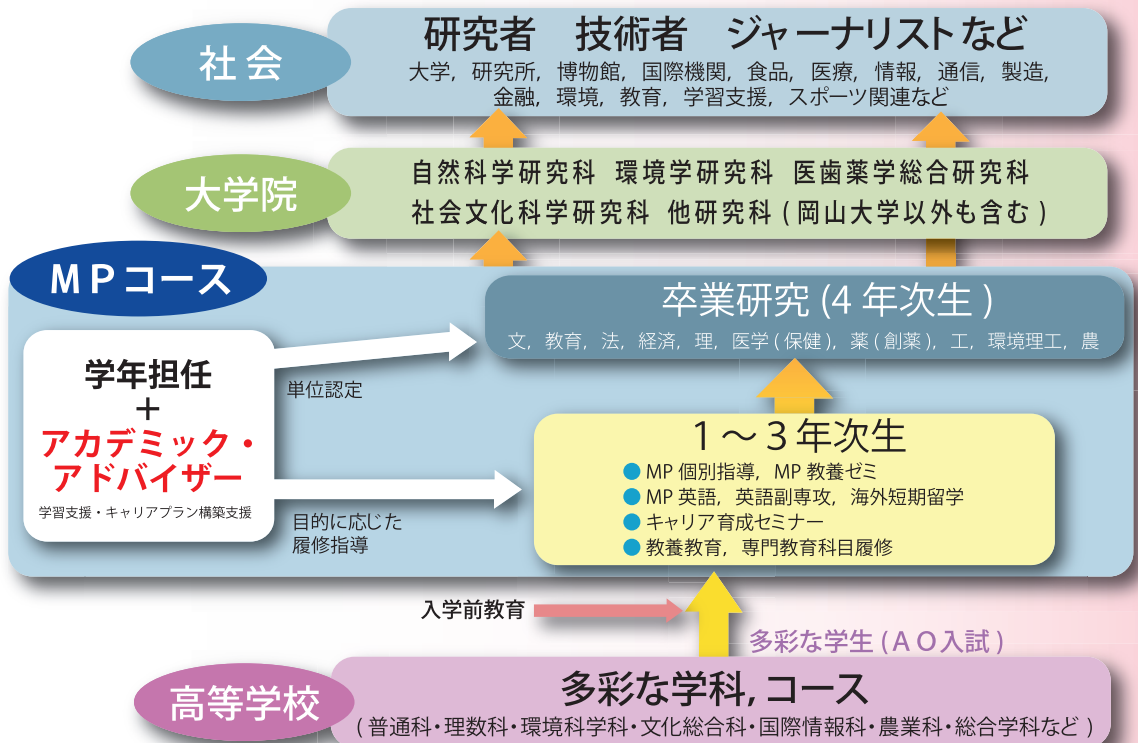
CONTENTS

MPコースって? / 教育部長からのメッセージ	2
MPコースの特徴 / MPコース独自の授業	3
キャンパスライフ1-3年生	4
これが私の選んだ道	5
アカデミック・アドバイザー制度 / 語学研修	6
就職活動 / 卒業生からのメッセージ	7

MP コースの特徴

- ① 目標に応じた独自の学部横断型カリキュラム
- ② アカデミック・アドバイザーによる効果的な履修指導
- ③ 目的に応じた学部・学科での卒業研究
- ④ 実践的な訓練を通じた、英語力・専門能力向上

MPコースの学生は、アカデミック・アドバイザーの助言を受けながら文理の枠を超え、自分に最も適した履修プログラムを作ります。そのため、履修プログラムは学生一人ずつ違い、誰一人として同じ授業時間割で学んでいる学生はいません。通常の学部・学科に属する学生が選択科目を除いてクラス全員で同じ授業を履修するのとは際立った違いがあります。



MPコース独自の授業

○ MP 英語

“使える英語”が学べる授業。ネイティブにも通用する発音を学べる授業や、日常やビジネスシーンでの文章を読む力をつける授業があります。少人数制の特色を活かしたきめの細かい指導が受けられます。

○ MP 教養ゼミ

様々な学部の先生や、時には他大学の先生方を招き、文理問わない講義をしてもらいます。文系、理系に偏らない柔軟な発想を養うことができます。また、課題に対して、自分で調べ、プレゼンテーションする時間もあり、社会に出たとき必要となるコミュニケーション力なども身につけることができます。

○ キャリア育成セミナー

自分のキャリア（将来こうなりたい）を考えていくセミナーです。無限の可能性があるMPコースだからこそ、将来やりたいことがなかなか一つにしぼれません。そこで、自分の興味ある分野や、性格などをもう一度見直し、本当に自分のやりたいことを発見したり、その夢を実現するためにどうすればよいのか考えていきます。また、実際に社会の中で活躍されている方々に講演をしてもらい「社会とはどういうものか?」、「学生時代どう過ごせばよいか?」などのお話を聞くことができます。



卒業課題研究発表会の様子

キャンパスライフ

1年生 山岡 孝平 米子東高校 卒業

私は将来、生物の体の仕組みや行動を研究し、そこで分かったことを物作りに活かすことができると考えています。そこで、生物学と工学のどちらの分野の授業も受けることができるMPコースに入学することを決めました。

現在は理学部生物学科の授業を中心に生物学の基本的な知識を学んでいます。また教育学部でも授業を受けています。どちらも自分が興味のある授業なので積極的に勉強に取り組んでいます。

	mon	tue	wed	thu	fri
1	現代生物学Ⅰ (理学部)	基礎生物学演習Ⅰ (理学部)	健康スポーツ科学 (教養教育科目)	進化生物学 (理学部)	中国語初級Ⅰ(読本) (教養教育科目)
2	英語(MPコース1) (MPコース)	自然科学入門 (MPコース)	MP英語 (MPコース)	生命科学入門 (教養教育科目)	学校教育心理学 (教育学部)
3	環境と生物 (環境理工学部)	生命科学序論 (工学部)	MP教養ゼミ (MPコース)		MP個別指導 (MPコース)
4	物質科学基礎 (工学部)			基礎地球科学実験 (理学部)	
5					基礎地球科学A (理学部)

2年生 草地 陽子 岡山後楽館高校 卒業

私は現在、文化人類学に興味があり、文学部行動科学科の講義などを中心に学んでいます。さらに、単位互換制度(大学コンソーシアム)を使い、他大学でも講義を受講しています。一年生の間にさまざまな学部の講義を受講したことで、視野が広がり、自分が本当に興味のあることや、どうアプローチしたらいいのかが見えてきました。

枠にとらわれない履修ができ、MPルーム(MPコース学生専用の教室)に戻れば、文理さまざまな視点を持つ仲間と話ができる。そんなMPコースに日々魅力を感じています。

	mon	tue	wed	thu	fri
1	情報化と職業倫理 (理学部)		社会心理学 (ノートルダム清心女子大学)		
2		MP教養ゼミ (MPコース)	英語(作文・文法) (教養教育科目)	民俗学 (ノートルダム清心女子大学)	文化人類学概説2 (文学部)
3	MP個別指導 (MPコース)	文化人類学 (文学部)			医学入門 (教養教育科目)
4	博物館学概論 (文学部)				
5	社会学概説 (文学部)		英語(MPコース3) (MPコース)		

3年生 濱崎 壮 松坂高校 卒業

私が研究したいのは鳥類の生態についてです。環境の変化に惑わされている鳥類をはじめとした生物の生態をよく知り、その事実を知らない人にも興味を持ってもらいたいと考えています。

そのために、心理学、社会事情を学ぼうと以下のようなカリキュラムを組んでいます。

	mon	tue	wed	thu	fri
1	情報処理論 (理学部)				
2	生物統計学 (薬学部)	英語(検定) (教養教育科目)		放射線安全システム工学 (教養教育科目)	
3		MP個別指導 (MPコース)	MP英語 (MPコース)		
4	政治学要説 (教育学部)			発展途上国経済 (経済学部)	社会心理学 (文学部)
5			MP教養ゼミ (MPコース)		

これが私の選んだ道



4年生 秋山 美穂

私は高校生のときに生物と数学の両方を修めたくてMPコースを受験しました。1年生のときから生物と数学を並行して授業を履修してきました。私はこの3年間、時間割を作るたびに生物にしようか、数学にしようか、じっくりと考えてきました。

また、MPコースの特色である、学部横断型カリキュラムにより、多方面から生物と数学の分野を観る事ができたと思います。

2年生前期の時間割

	mon	tue	wed	thu	fri
1	情報化と職業倫理 (理学部)	基礎免疫学 (理学部)	心理学演習 (文学部)		生化学Ⅱ (理学部)
2	基礎物理学Ⅰ (理学部)	分子遺伝学Ⅰ (理学部)	行動生物学 (理学部)		日本国憲法 (教養教育科目)
3	生物学実験A (理学部)	生物学実験A (理学部)			
4			MP個別指導 (MPコース)	幾何学Ⅰ (理学部)	心理学概説Ⅰ (文学部)
5	MP教養ゼミ (MPコース)		英語(MPコース3) (MPコース)	幾何学Ⅰ演習 (理学部)	

その中でも自分の興味のある授業を履修し、本当に勉強したいことは何かということを中心に考えながら勉強をしていました。

だからこそ、より興味があるとわかった生物分野で、現在課題研究を行っています。

そして、さらに生物分野を学ぶために大学院進学を目指して毎日実験を行っています。

私のように今何をしたいか迷っている人にも、大学に入ってから本格的に学ぶことを決められるMPコースはおすすめです。



3年生前期の時間割

	mon	tue	wed	thu	fri
1		病弱者心理・生理・病理学概論 (教育学部)	細胞生物学Ⅱ (理学部)		
2		総合演習U (理学部)	代数学基礎A演習 (理学部)	分子生物学Ⅱ (理学部)	生体制御学Ⅱ (理学部)
3	教育の社会と制度 (教育学部)	代数学基礎A (理学部)	MP英語1 (MPコース)	教育相談論B (教育学部)	
4		中等理科教育法 (教育学部)			代数学 (理学部)
5	心理学概説Ⅰ (文学部)	解析学基礎A (理学部)	MP教養ゼミ (MPコース)		代数学演習 (理学部)

アカデミック・アドバイザー制度

マッチングプログラムコース（MPコース）では、個々の学生が、学部・学科の枠にとらわれず、独自の授業履修カリキュラムを組み立てます。膨大な数の授業科目から自分にあった授業科目を選ぶことは決して簡単ではありませんが、そんな時に頼りになるのがアカデミック・アドバイザー（A・A）です。

MPコースでは、各学生の学びたいことや将来の目標にマッチした分野を専門とする教員がA・Aとして学生ひとりひとりを担当します。学生とA・Aは基本的に毎週一回面談をします。その内容は、授業履修に関する助言、学業の進捗状況の報告や、将来のことについての相談（どんな授業を履修するか、から、将来どんな職業に就きたいか、まで）などです。高校までと違い、一般に大学の、特に1、2年生の間は、教員と直接話す機会はそのほど頻繁にはありません。しかし、MPコースでは毎週A・Aと面談することで教員との距離が近づき、積極的に大学教員という「人的資源」を利用することが出来ます。MPコース学生の積極性は、既に各方面に知られるところですが、その一つの要因として、この教員との距離感の無さも挙げられるのではないのでしょうか。

語学研修 in Adelaide

岡山大学の春季語学研修では、オーストラリアのアデレードに5週間ホームステイすることができます。MPコースには一定以上のTOEICスコアをとると、この語学研修の参加費を補助してもらえる制度があります。私はこの制度を利用してアデレード大学に行き、他の留学生と一緒に英語の勉強をしてきました。

授業では課題があったり、パワーポイントを使つてのプレゼンテーションをしたりしました。その合間にゲームをはさんであったので楽しく勉強することができました。ほかの留学生たちと一緒に授業を受けたので、他の大学の学生や留学生とも仲良くなれたと思います。

アデレードは観光には事欠かない町だと思います。私は空いた時間に公共機関を使って色々な所に行きました。また、そうすることで英語に触れる機会も増え、町の人の様子も見えるので、勉強にもなりました。楽しくて充実した5週間でした。

2年生 伊藤綾理



「アデレードの街並」



「ホストマザーと」



「アデレード市庁舎」

就職活動

就職活動は、自分と向き合い、会社のことを知る良い機会です。

そして大学では「自分探し」のために、常に自分と向き合う日々でした。MPコースでは討論をすることも多く、相手の意見を聞くことで考え方を広げ、新たな自分を発見しました。そのおかげで就職活動では、自分の考えを伝え、2社からの内定を頂くことが出来ました。就職活動に欠かせない、「自分と向き合う」きっかけをくれたのが、MPコースだと改めて感じています。

4年生 竹山 麻子

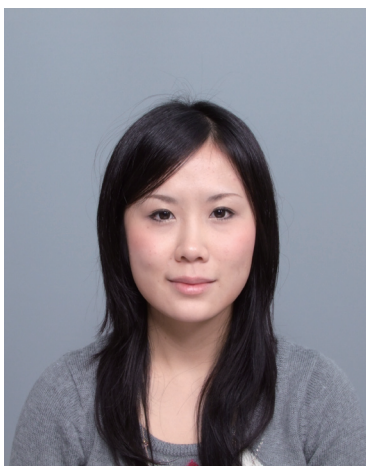
卒業生からのメッセージ

私は現在、岡山大学大学院でブッポウソウという鳥の研究を行っています。大学入学前に読んだ本がきっかけで、その鳥に興味を持ち、ぜひ卒業研究のテーマにしたいと強く思いました。しかし、鳥の生態を研究している研究室は当時ありませんでした。私は自分でいろんな方にコンタクトを取り、人間関係を築き、必要な情報を集めました。MPコースに所属していたからこそ、自分の夢に向かって頑張ることができましたし、先生たちも応援して下さいました。



マッチングプログラムコースで大学4年間を過ごせたことは、私にとって大きな財産になっています。自分で自分の道を切り開いていく！私はこの言葉が大好きです。

岡山大学大学院 自然科学研究科 博士前期課程 生物学専攻 在学中 水野 聖子



私はMPコースで脳について学ぶために、生物学や心理学などを幅広く履修しました。今は企業を支えたいという思いから、銀行員として働いています。


配属先である法人部では、企業のお客様にお金を貸したり、金融商品の提案を行ったりしています。この仕事では、お客様の会社内容に合った商品を選んで分かりやすくお勧めする力、また専門の各部門と複雑な金融形態について話し合う力といった、『広い視野と専門性を生かしたコミュニケーション能力』が必要となります。

さらに、様々な業種のお客様に関する知識と、莫大な金融知識を身につけるために『好奇心』も欠かせません。私はMPコースで、脳には関係のないような教育や工学の講義も面白そうだと思いを履修しました。一見すると異分野なのですが、発達心理や認知工学といった面で、脳のしくみが活かされており、好奇心を大切にすることで知識の幅が広がりました。

このように、MPコースで育んだ『広い視野と専門性を生かしたコミュニケーション能力』や『好奇心』は、実社会にも繋がる能力です。私も早く一人前の銀行員としてお客様の役に立つために、これらを活かしていきたいです。皆さんも実社会で役立つ力を、ぜひMPコースで身につけて下さい。

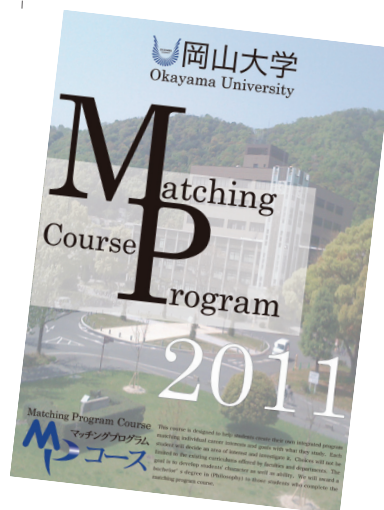
株式会社三井住友銀行 二木 佑実子 (平成22年3月 MPコース卒業)

自分の道は
自分で切り開く



M P コース

マッチングプログラム



Made by Matching Program Course Students

このパンフレットは毎年、MPコースの学生が主体となりデザイン、編集しています。

制作にご協力頂いたすべての皆様に感謝致します。

制作統括：田邊 彰洋

岡山大学マッチングプログラムコース

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
理学部本館

TEL:086-251-7763 FAX:086-251-7777

<http://www.mpc.okayama-u.ac.jp/>

MPコース |

検索